

クラシック・ライター 片桐卓也さん



「ダニエル・バレンボイム指揮 シュターツカペレ・ベルリン」

イスラエル出身の世界的な指揮者、ダニエル・バレンボイムは、日本でブルックナーの交響曲、全曲の演奏会をすることをずっと熱望していました。それが実現したのが、今回のブルックナー・チクルス（連続演奏）です。

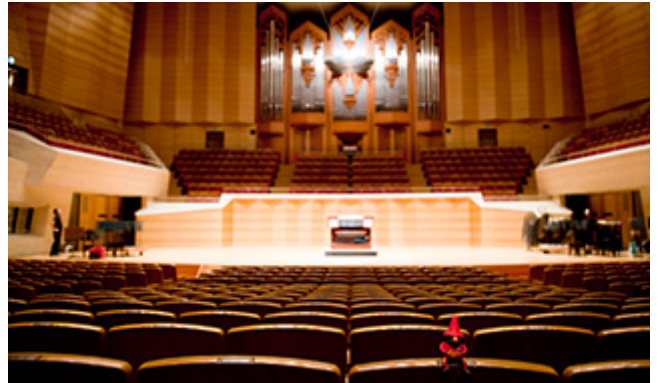
しかもその公演を行うにあたって、バレンボイムは、ずっと手塩にかけてきたシュターツカペレ・ベルリン、つまり、ベルリン国立歌劇場のオーケストラを率いて日本にやってきました。

ブルックナーは、クラシック・ファンにとって最も大事な交響曲作曲家とされています。

そんなブルックナーの世界が、バレンボイムの熱いタクトによって、より一層輝きを増す、そんなコンサートになると思います。ぜひお聞きください。

「ダニエル・バレンボイム指揮 シュターツカペレ・ベルリン」は、アークヒルズの「サントリーホール」にて上演されます。

(2016.02.16)



サントリーホール

世界的な指揮者、念願の日本での演奏会

ダニエル・バレンボイムとシュターツカペレ・ベルリンのコンビとしては、約9年ぶりとなる来日コンサート。同氏はシカゴ響等で交響曲全曲録音を行うほどブルックナーを得意としている上に、シュターツカペレ・ベルリンとのコンビは20年を超えていて最上の条件となっているといいます。このような公演は2度と実現しないであろうと囁かれ、歴史的な公演となる期待大です。

開催概要

- 期間：2月9日（土）～2月20日（日） 全9回公演
- 場所：サントリーホール 大ホール（アークヒルズ）
- 入場料：S席 ¥ 29,000、A席 ¥ 25,000、B席 ¥ 21,000、C席 ¥ 17,000、D席 ¥ 14,000
- ▶ ダニエル・バレンボイム指揮 シュターツカペレ・ベルリン～ベルリン国立歌劇場管弦楽団～

ダニエル・バレンボイム：ピアニスト・指揮者

1942年アルゼンチン生まれ（現国籍はイスラエル）。1950年に8歳でピアニストとしてデビュー。1962年にはイスラエルで指揮者としてデビュー。その後、パリ管弦楽団音楽監督、シカゴ交響楽団音楽監督を歴任。1992年にはベルリン国立歌劇場の音楽総監督に就任し現在に至る。

受賞歴は5度のグラミー賞や、高松宮殿下記念世界文化賞音楽部門など多数。ベルリン国立歌劇場管弦楽団を指揮したCD「タンホイザー」は、2003年グラミー賞のベストオペラ録音部門を受賞。

プロフィール



フリーの編集者を経て、1990年からクラシック音楽中心のライターとして活動を始め。現在はクラシック音楽専門誌に定期的にインタビュー、批評などを執筆。その他、クラシック音楽の講座、コンサートのプレトークを担当することもある。ミュンヘン国際音楽コンクールなど、世界的なコンクールの現地取材も経験。最も関心のあるジャンルは17～18世紀のオペラで、その上演を観るために、海外へ出かけている。